禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B60

「中央職業能力開発協会編」

令和５年度 技能検定
２級 左官 学科試験問題
(左官作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　土壁中塗りには、黒打ち鏝よりも油焼き鏝の方がよい。

2　下塗りに使用する鏝は、一般に、本焼き鏝が適している。

3　木造直張りラスモルタル下地のラスは、千鳥張りにしてはならない。

4　木造下地にせっこうラスボードを取り付ける場合は、表面処理をしていない鉄製のくぎを使用する。

5　壁の切付けを仕上げる墨は、逃げ墨から計測して行うとよい。

6　壁面へのセメントモルタルの1回の塗り厚は、15mm程度がよい。

7　漆喰塗りの材料に糊を混入する目的の一つは、保水性を良くするためである。

8　せっこう置き引き仕上げは、焼きせっこうによる装飾工法には含まれない。

9　セメントモルタル塗りの下塗りにおいて、くし目を入れる目的は、上層面との付着性を高めるためである。

10　土物壁のちり回りに使用する土は、荒壁よりもすさを多くした方がよい。

11　ラス下地セメントモルタル塗りの施工順序は、一般に、次のとおりである。
　セメントモルタル下塗り → 中塗り → むら直し → 上塗り

12　モルタルポンプを使用して壁面に吹付けを行う場合、スプレーガンは、壁面から10cm程度離して吹付けるとよい。

13　コンクリートの軟らかさを表すスランプ値は、硬練りのものほど大きくなる。

14　木ずり下地は、せっこうボードを張るためのものである。

15　白毛（しらが）すさは、漆喰塗りの上塗り用に使用する。

16　塩化カルシウムを配合した水ガラスを主成分とした防水剤は、サッシ枠を腐食させることもある。

17　合成樹脂系シーラーは、下地の吸水性を調整するために使用される。

18　メタルラスの留め付けには、鉄丸くぎが適している。

［A群（真偽法）］

19　無双連子付窓とは、縦に隙(すき)間をあけた板を組み合わせ、水平移動で開閉する換気窓をいう。

20　色の三原色とは、赤、青及び緑をいう。

21　ラーメン構造とは、柱と梁の接合部を剛接合とした門型の骨組構造をいう。

22　筋かいは、地震や風などの水平力に対して抵抗する。

23　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次図は、引違い窓を表す平面表示記号である。



24　建築基準法関係法令によれば、モルタルは、不燃材料である。

25　労働安全衛生法関係法令によれば、工事現場で、高さ4mの場所から残材等を投下する場合は、下に人がいないことを確認すれば、そのまま投下してよい。

［B群（多肢択一法）］

1　人造石研ぎ出し仕上げの研ぎ出しに使用される器工具として、適切なものはどれか。
　イ　ワイヤブラシ
　ロ　ランマー
　ハ　コンプレッサ
　ニ　サンダー

2　次図の鏝の名称はどれか。
　イ　鋼本焼き引き鏝
　ロ　れんが鏝
　ハ　丸窓面引き鏝
　ニ　切り付け鏝



3　左官下地とその下塗り材の組合せとして、適切でないものはどれか。
　　（下地）　　（材料）
　イ　現場打ちコンクリート・・・セメントモルタル
　ロ　れんが・・・・・・・・・・漆喰
　ハ　木毛セメント板・・・・・・セメントスタッコ
　ニ　木ずり・・・・・・・・・・樹脂プラスター

4　墨打ちに関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　心墨は、柱及び梁等の中心を示す基準である。
　ロ　ちり墨は、壁の塗り厚を定める基準である。
　ハ　針糸(つぼ糸)の巻き方は、柱右側を打つ場合が左巻き、柱左側を打つ場合が右巻きとする。
　ニ　十分に墨が含まれている針糸(つぼ糸)は、一度、捨て墨(むだ打ち)を行うと、鮮明に打つことができる。

5　擬木仕上げに関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　擬木は、セメント、砂、顔料などを使って、自然の樹木の形をまねて作ったものである。
　ロ　下塗りは、外側から塗り、粗面にする。
　ハ　枝の切り口面の中塗りには、肌わかれを防ぐために金鏝を使用する。
　ニ　年輪を書くときは、水引き具合を見計らい、ブラシではらって筋が付かなくなったときがよい。

6　人造石洗い出し工法に関する記述として、適切なものはどれか。
　イ　酸洗いは、希塩酸を水で2倍程度に薄めて行う。
　ロ　目地棒の上に上塗り材をかぶせて塗る。
　ハ　目地棒の抜き取りは、洗い出し当日、水引き具合を見て行う。
　ニ　主として、内部の壁、天井、梁の仕上げに使用される。

［B群（多肢択一法）］

7　こまい壁塗りに関する記述として、適切なものはどれか。
　イ　水あわせ期間は、切り返し(練り返し)を行わない方がよい。
　ロ　荒壁、中塗り、上塗りの順に塗り厚を薄くする。
　ハ　こまい竹のかき縄には、ビニル製のものが適している。
　ニ　壁の強度は、両面仕上げでも、片面仕上げでも同じである。

8　せっこうプラスター塗り工法に関する記述として、適切なものはどれか。
　イ　追っかけ塗りをしてはならない。
　ロ　中塗りは、加水後、2時間以内に施工する必要がある。
　ハ　外壁仕上げに適している。
　ニ　強度を増すためには、セメントを加えるとよい。

9　塗り壁の故障の対策として、適切でないものはどれか。
　イ　富調合のセメントモルタルは、調合を変える。
　ロ　風化したセメントは、使用しない。
　ハ　下地の吸水が大きいときは、吸水調整材の原液を塗布する。
　ニ　塗り厚が大きいときは、つけ送りを行う。

10　材料の保管に関する記述として、最も適切なものはどれか。
　イ　合成樹脂エマルションは、直射日光を避けた暗所に保管するとよい。
　ロ　セメントの置場は、練り場に近い所であれば湿気の多い所でもよい。
　ハ　セメント倉庫は、1日分の使用量を保管できる広さでよい。
　ニ　せっこうプラスターは、製造後1年を経過したものを使用してもよい。

11　モルタルポンプに使用する輸送管に関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　鋼管は、主に垂直配管部分に使用される。
　ロ　鋼管は、高温時に直射日光が当たらないように遮へいをする。
　ハ　ゴム管を長く配置するときは、管をわずかに蛇行させるとよい。
　ニ　新管は、ポンプ側よりも輸送管の先端側に使用する方がよい。

12　タイル張り施工法とセメントモルタル下地仕上げの組合せとして、適切でないものはどれか。

	(施工法)	(下地仕上げ)
イ	積上げ張り	・・・金ぐし引き
ロ	圧着張り	・・・・木鏝押さえ
ハ	密着張り	・・・・木鏝押さえ
ニ	接着剤張り	・・・木鏝押さえ

［B群（多肢択一法）］

13　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

(　　)は、石灰物質の沈殿によって生じた石灰岩が変質したものである。

イ　大理石

ロ　花崗(こう)岩

ハ　粘板岩

ニ　砂岩

14　荒壁土に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　荒壁土は、水合わせをしないで使用するのがよい。

ロ　中塗り用の原土及び砂は、半乾燥状態のものとする。

ハ　色土は、顔料としてセメントモルタルやプラスターに混入して使用する。

ニ　荒壁土は、乾燥して手で握って容易に崩れてしまうものは使用しない。

15　セメントモルタルに関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　細かすぎる骨材を多く配合すると、ひび割れが多くなる。

ロ　早強ポルトランドセメントは、冬期の施工に適さない。

ハ　セメント量を多く、骨材を少なく配合すると、収縮が大きくなる。

ニ　普通ポルトランドセメントは、水硬性である。

16　セメントモルタル塗り工法の材料の練り合わせに関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　吸水調整材は、指定量の水で均一に薄めて使用する。

ロ　現場調合セメントモルタルの1回の練り混ぜ量は、3時間以内に使いきる量とする。

ハ　粉末状の混和材料は、空練りの時に混入して使用する。

ニ　液状の混和剤は、あらかじめ練り混ぜ水に混和して使用する。

17　左官塗りの下地に用いる材料に関する記述として、一般に、適切なものはどれか。

イ　ALCパネルは、厚手の左官塗りに適している。

ロ　メタルラスは、セメントモルタルの塗り下地に使用する。

ハ　せっこうボードは、耐火性が低い。

ニ　木毛セメント板は、セメントモルタルの付着性が悪い。

18　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

蛇腹現場引き仕上げの繰り型とは、(　　)で、いろいろな形の模様をくり抜いた輪郭(かく)のことをいう。

イ　左官鏝や皮すき等

ロ　引型

ハ　銅製や木製の型枠

ニ　ハンマやはつりのみ

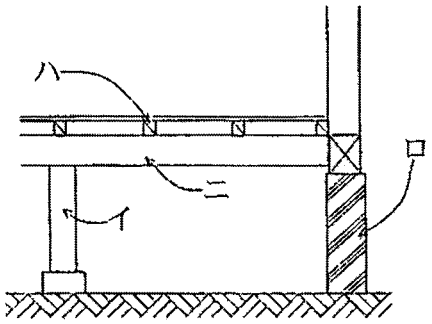
［B群（多肢択一法）］

19　次のうち、無彩色はどれか。
　イ　赤
　ロ　青
　ハ　黄
　ニ　白

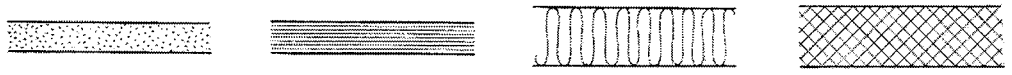
20　建築構造に関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　壁式構造とは、柱がなく、壁とスラブを一体にしたものをいう。
　ロ　RC造とは、鉄筋コンクリート造をいう。
　ハ　S造とは、鉄骨造をいう。
　ニ　SRC造とは、補強コンクリートブロック造をいう。

21　建築基準法関係法令によれば、建築物の主要構造部でないものはどれか。
　イ　階段
　ロ　壁
　ハ　付け柱
　ニ　屋根

22　次図のつか立て床の断面において、根太を表すものはどれか。



23　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次図の材料構造表示記号のうち、左官仕上を表すものはどれか。



イ　　ロ　　ハ　　ニ

24　建築基準法関係法令によれば、耐水材料でないものはどれか。
　イ　陶磁器
　ロ　コンクリート
　ハ　せっこうラスボード
　ニ　アスファルト

［B群（多肢択一法）］

25　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、足場板を長手方向に重ねるときは、支点の上で重ね、その重ねた部分の長さは、(　　)cm以上とする。

イ　5

ロ　10

ハ　15

ニ　20